

市民部会の意見について

(1) 第23回市民部会での検討の内容(11月21日)

【休日運行の必要性・利便性】

- ・イメージは福祉バスであるため、交通弱者がいるのであれば運行させるべき。
- ・交通不便地は残すべきである。
- ・休日の運行は必要である。
- ・廃止するのであれば、市民の理解が不可欠である。休日のみの採算を示すのではなく、平日と休日合わせた採算を示し、いかに休日の採算が悪いかを示す必要がある。
- ・ルートとダイヤが平日と異なっており、利用者にとっては不便。

【今後の休日運行の見直しの方向性と改善策】

- ・運賃を値上げしてでも運行すべきではないか。
- ・収支が悪いのであれば、廃止することも必要。
- ・利用者が多いところのみを残す方が良いのではないか。
- ・一部のルートのみを残すと運行していない地域からの理解が得がたいのではないか。
- ・パターンダイヤを確保して乗りやすいようにする。
- ・平日と同じコースで便数を減らして運行する。
- ・路線バスが充実している地域はルートカットする。

(2) 第24回市民部会での検討の内容(12月4日)

【休日運行の見直しの方向性について】

- ・小野原は比較的若い世帯が多いため、休日は自家用車で移動する人が多いのではないか。
- ・小野原は商業エリアであり、お店もあるため、小野原エリアへ行くバスルートは残すべきではないか。
- ・箕面駅から北小学校、如意谷一丁目を通りかやの中央まで行くルートは路線バスが通っているので、路線バスに任せればよい。
- ・平日・休日同じルートで便数を減らす。
- ・休日の運行ルートが度々変更されるため、住民が理解できていないのではないか。
- ・収支率にこだわらず残して欲しい。
- ・利用の少ないバス停を間引けば時間短縮できるのではないか。
- ・もう1年間、休日の実証運行を継続し、検証すべきではないか。